

組合たより「木造施設視察研修会」の報告について

11月8日（火）～9日（水）の日程で茨城県、栃木県内の木造施設視察を行い、組合員18社25名が参加しました。

毎年の研修会は組員アンケート等を参考に教育情報等企画委員会が作成した企画案を理事会承認の下に事業計画化されるもので、本研修会は近年ますます注目が高まっている木造建築物に関する専門的知見を習得するために企画されたものです。

11月8日（火）は、茨城県つくば市の住友林業筑波研究所様の特別な計らいのもと、「新研究棟」の設計にかかわった「山田憲明構造設計事務所」の山田代表に半日にわたり講演の講師と新研究棟の案内・解説をしていただきました。

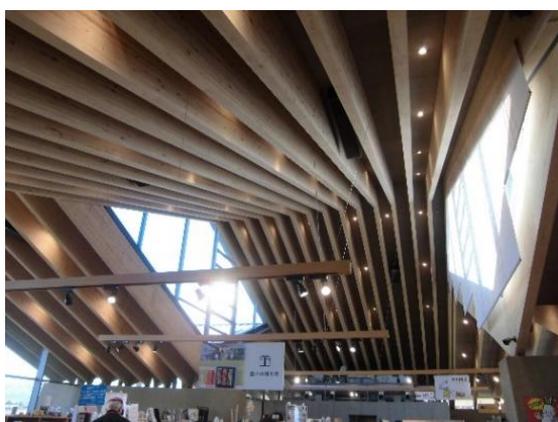
本研究棟に採用した「プレストレス積層ブロック壁柱」は1枚当たり500kNの短期許容耐力を有しながら、接合ディテールの簡素化、積層パターンの多様化も可能にしたものです。また、山田講師の手がけた様々な木造建築物の構造を紹介して頂きました、



その後、移動して桜川市の歴史資料館、図書館等の複合施設である「真壁伝承館」の視察を行いました。同施設は重要伝統的建築物群保存地区に指定された江戸時代末期から昭和前期の真壁地区の建築物を現代にアセンブリしたものです。



11月9日（水）は栃木県益子町の「道の駅ましこ」の視察を行いました。周辺の山並みに呼応するデザインと共に、屋根材は町有林を床や壁には地場産陶土を使用して益子町の特徴を具現化しています。



続いて同じ益子町の宿泊施設、研修施設である「フォレスト益子」を視察しました。

定休日と重なり一部の施設視察となったことは残念でした。

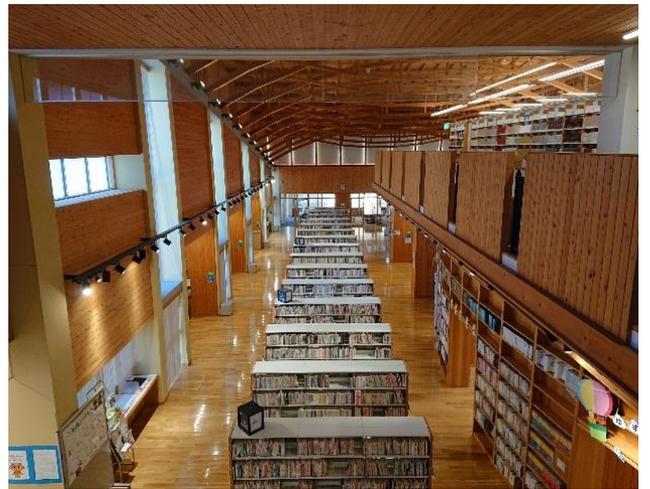
本施設は県立自然公園・増子の森の入口に位置し、落葉広葉樹でおおわれた里山林に溶け込んだ建築物です。



最後に茂木町の「茂木町まちなか交流館（ふみの森もてぎ）」を視察しました。本施設も図書館を中心とした複合施設で、300年続いた造り酒屋跡地に建てられたRC造+木造建築物で町有林の杉材をふんだんに使用した魅力的な建物でした。

建設に関わった茂木町の小崎副町長がスライド、動画を交えて解説して下さり、建物の案内時には木材の調達から工事の流れまで詳しく説明していただき大変勉強になりました。

本施設も前途の「山田憲明構造設計事務所」が担当したもので、前日に山田講師に説明して頂いた木造サスペンショントラスを見せて頂くことが出来ました。



魅力的で個性的な木造建築物を視察できて、有意義な研修でした。